

寺崎組新聞

第四十三号

雷電が右衛門っていつの力士なんだ？ in 東

197回組会報告



異例の6月末の梅雨明け宣言に猛暑の予感の中で迎えた7月定例組会には小泉郡東部町の地名が馴染みませんが、信州が誇る伝説の横綱「雷電」の集合場所も道の駅「雷電くまの里」となっており自宅から下道で1時間半ほどなので余裕ブツコキの参加者が最終到着者となりました。今三浦さん、尾形さん、村松さん、六川さん、あつみさん、私の8人となりました。本日より荒れ模様様の天候が予想されていますので、雨対策もバツチリの中出発となりました。

並行しながら昔平方面を指し、東部バルブステーションの看板と施設を発見。我々業界人しか反応しません。新潟から東京への天然ガス輸送の基幹である高圧パイプラインの分岐部分であり、ここから松本、諏訪、甲府への天然ガス供給が行っております。

途中から1本目の林道に突入、路面は前夜に降った雨水が斜面より川となつて流れており、へなちょこ組員である私は慎重に進んで行きます。ドロドロ、ぬたぬた、ゴツゴツと変化する林道を必死にトレースしながらの休憩地。切立った岩盤が露出する場所でもクククライミングの練習場所のような痕跡を見つけた。最終的に登山活動をされています。ゴ三浦さんも即反応してしまいました。組長も形だけチャレンジしたりと暫しの休憩。

そこから昔平高原を經由し松代市街地を通過し、初日買出し場所のツルヤ到着。この松代は真田氏に所縁のある城下町で先の大戦での本土決戦時の天皇御所、NHKや大本営を移管する予定でした像山地下壕が建

設されていた場所でした。それぞれ年齢を考慮しない買出しの量を抱えてパッキング中からいよいよ雨模様で燃料補給を終えての出発時には本降り雨に。県道403号から再び昔平方面の山中に分け入り本日の野宿地を目指します。林道脇の草地が本日のお宿となり、毎度の雨中テント・宴会場設置を行い、やとプシューの時間となりました。草が生い茂る宴会場ですが、料理が回り酒が進むといつもの取り留めのない話題に楽しい時間が過ぎて行きました。テントの中も濡れた1夜も明け、比較的ゆつくりの朝の時間。ゴミを燃やし撤収後に2日目のスタートです。途中崩落した場所も無事通過し昔平高原をパスしながら林道走行。途中から県道158号にて真田町傍陽地区を通過中にアクシデント発生！六川さんが後輪をパンクしてしまいました。みんなで戻ると流石に県道横の空き地で手際よく修理に取り掛かっていました。へなちょこ組員の私は実戦でのパンク修理は今までに経験がないので、しっかり勉強させていたいただきました。途中六川さん持参のチューブに不具合があったりなかなか手ごわい修理でしたが、組長持参のチューブ使用にて無事完了し、再び林道へ戻り昼飯となりました。

このまま下って上って下ると余地の峠の峠道に入るのだが、野宿地を求めて分岐道に入る。良い感じに四輪の轍は薄く、野宿適地がある可能性は高い。昨今、キャンプブームとかでキャンプ場にテントを張るのがマナーみたいな風潮が高いようだが、野宿者はひたすら他人の目を避け、ひっそりと隠れるように楽しみたいものだ。その道の終点が広場になつており、野宿地に決定。カラマツの林に夕日が射し、心地の良い野宿宴会に突入。参加の皆様、ありがとうございます。

このまま下って上って下ると余地の峠の峠道に入るのだが、野宿地を求めて分岐道に入る。良い感じに四輪の轍は薄く、野宿適地がある可能性は高い。昨今、キャンプブームとかでキャンプ場にテントを張るのがマナーみたいな風潮が高いようだが、野宿者はひたすら他人の目を避け、ひっそりと隠れるように楽しみたいものだ。その道の終点が広場になつており、野宿地に決定。カラマツの林に夕日が射し、心地の良い野宿宴会に突入。参加の皆様、ありがとうございます。

さてどうする？先を引く張る身ではないあの道へ行って見ることにしよう。野宿地はそのついでに探せばいいか。あの道は田口十石峠林道といふ。県道を白田方面に少し下り、ダム湖の先端に近い所にある分岐に折れる。ダム湖の先端も広場があり良い野宿地なのだが、この季節には先住者がいる可能性が高いのでパス。いつしか、いつか来て引き返し坂になった。削られた法面は新しうので、敷きたての深い砂利、ひよっとして思っていたら、いつしか反対側から来て途中で引き返した。あの分岐を通過。通じていたわけではなく、あの道をこう行っているわけではなく、あの道を行く興味で徘徊しているのです。

このまま下って上って下ると余地の峠の峠道に入るのだが、野宿地を求めて分岐道に入る。良い感じに四輪の轍は薄く、野宿適地がある可能性は高い。昨今、キャンプブームとかでキャンプ場にテントを張るのがマナーみたいな風潮が高いようだが、野宿者はひたすら他人の目を避け、ひっそりと隠れるように楽しみたいものだ。その道の終点が広場になつており、野宿地に決定。カラマツの林に夕日が射し、心地の良い野宿宴会に突入。参加の皆様、ありがとうございます。

さてどうする？先を引く張る身ではないあの道へ行って見ることにしよう。野宿地はそのついでに探せばいいか。あの道は田口十石峠林道といふ。県道を白田方面に少し下り、ダム湖の先端に近い所にある分岐に折れる。ダム湖の先端も広場があり良い野宿地なのだが、この季節には先住者がいる可能性が高いのでパス。いつしか、いつか来て引き返し坂になった。削られた法面は新しうので、敷きたての深い砂利、ひよっとして思っていたら、いつしか反対側から来て途中で引き返した。あの分岐を通過。通じていたわけではなく、あの道をこう行っているわけではなく、あの道を行く興味で徘徊しているのです。

さてどうする？先を引く張る身ではないあの道へ行って見ることにしよう。野宿地はそのついでに探せばいいか。あの道は田口十石峠林道といふ。県道を白田方面に少し下り、ダム湖の先端に近い所にある分岐に折れる。ダム湖の先端も広場があり良い野宿地なのだが、この季節には先住者がいる可能性が高いのでパス。いつしか、いつか来て引き返し坂になった。削られた法面は新しうので、敷きたての深い砂利、ひよっとして思っていたら、いつしか反対側から来て途中で引き返した。あの分岐を通過。通じていたわけではなく、あの道をこう行っているわけではなく、あの道を行く興味で徘徊しているのです。

このまま下って上って下ると余地の峠の峠道に入るのだが、野宿地を求めて分岐道に入る。良い感じに四輪の轍は薄く、野宿適地がある可能性は高い。昨今、キャンプブームとかでキャンプ場にテントを張るのがマナーみたいな風潮が高いようだが、野宿者はひたすら他人の目を避け、ひっそりと隠れるように楽しみたいものだ。その道の終点が広場になつており、野宿地に決定。カラマツの林に夕日が射し、心地の良い野宿宴会に突入。参加の皆様、ありがとうございます。

このまま下って上って下ると余地の峠の峠道に入るのだが、野宿地を求めて分岐道に入る。良い感じに四輪の轍は薄く、野宿適地がある可能性は高い。昨今、キャンプブームとかでキャンプ場にテントを張るのがマナーみたいな風潮が高いようだが、野宿者はひたすら他人の目を避け、ひっそりと隠れるように楽しみたいものだ。その道の終点が広場になつており、野宿地に決定。カラマツの林に夕日が射し、心地の良い野宿宴会に突入。参加の皆様、ありがとうございます。

このまま下って上って下ると余地の峠の峠道に入るのだが、野宿地を求めて分岐道に入る。良い感じに四輪の轍は薄く、野宿適地がある可能性は高い。昨今、キャンプブームとかでキャンプ場にテントを張るのがマナーみたいな風潮が高いようだが、野宿者はひたすら他人の目を避け、ひっそりと隠れるように楽しみたいものだ。その道の終点が広場になつており、野宿地に決定。カラマツの林に夕日が射し、心地の良い野宿宴会に突入。参加の皆様、ありがとうございます。

このまま下って上って下ると余地の峠の峠道に入るのだが、野宿地を求めて分岐道に入る。良い感じに四輪の轍は薄く、野宿適地がある可能性は高い。昨今、キャンプブームとかでキャンプ場にテントを張るのがマナーみたいな風潮が高いようだが、野宿者はひたすら他人の目を避け、ひっそりと隠れるように楽しみたいものだ。その道の終点が広場になつており、野宿地に決定。カラマツの林に夕日が射し、心地の良い野宿宴会に突入。参加の皆様、ありがとうございます。

このまま下って上って下ると余地の峠の峠道に入るのだが、野宿地を求めて分岐道に入る。良い感じに四輪の轍は薄く、野宿適地がある可能性は高い。昨今、キャンプブームとかでキャンプ場にテントを張るのがマナーみたいな風潮が高いようだが、野宿者はひたすら他人の目を避け、ひっそりと隠れるように楽しみたいものだ。その道の終点が広場になつており、野宿地に決定。カラマツの林に夕日が射し、心地の良い野宿宴会に突入。参加の皆様、ありがとうございます。

このまま下って上って下ると余地の峠の峠道に入るのだが、野宿地を求めて分岐道に入る。良い感じに四輪の轍は薄く、野宿適地がある可能性は高い。昨今、キャンプブームとかでキャンプ場にテントを張るのがマナーみたいな風潮が高いようだが、野宿者はひたすら他人の目を避け、ひっそりと隠れるように楽しみたいものだ。その道の終点が広場になつており、野宿地に決定。カラマツの林に夕日が射し、心地の良い野宿宴会に突入。参加の皆様、ありがとうございます。

このまま下って上って下ると余地の峠の峠道に入るのだが、野宿地を求めて分岐道に入る。良い感じに四輪の轍は薄く、野宿適地がある可能性は高い。昨今、キャンプブームとかでキャンプ場にテントを張るのがマナーみたいな風潮が高いようだが、野宿者はひたすら他人の目を避け、ひっそりと隠れるように楽しみたいものだ。その道の終点が広場になつており、野宿地に決定。カラマツの林に夕日が射し、心地の良い野宿宴会に突入。参加の皆様、ありがとうございます。

東御組会一人一言

記 組長

●パンク修理とか、大変でした。でも、よく走りました。最高でした！（オガタ）

●眼鏡とチューブは新しいものにしませう！（ロッカー）

●油断大敵、タープ下だと安心してロールテイツッシュを濡らしたのは僕です。（地下鉄）

●問題のセクション、XLR80だったから難なく通過できたっぽいですが、珍しくトラブルの多い組会でした。最後は笑顔になるところはさすがでした！（カバ）

●静岡は東西、長野は南北に長いので行き帰りは工藤静香の振り付けの如く（村松岡）

●道の駅雷電くるみの里から出発！よそ見したら組長に追突、ポテッと転けました。申し訳ありませんでした。（半蔵）

このまま下って上って下ると余地の峠の峠道に入るのだが、野宿地を求めて分岐道に入る。良い感じに四輪の轍は薄く、野宿適地がある可能性は高い。昨今、キャンプブームとかでキャンプ場にテントを張るのがマナーみたいな風潮が高いようだが、野宿者はひたすら他人の目を避け、ひっそりと隠れるように楽しみたいものだ。その道の終点が広場になつており、野宿地に決定。カラマツの林に夕日が射し、心地の良い野宿宴会に突入。参加の皆様、ありがとうございます。

このまま下って上って下ると余地の峠の峠道に入るのだが、野宿地を求めて分岐道に入る。良い感じに四輪の轍は薄く、野宿適地がある可能性は高い。昨今、キャンプブームとかでキャンプ場にテントを張るのがマナーみたいな風潮が高いようだが、野宿者はひたすら他人の目を避け、ひっそりと隠れるように楽しみたいものだ。その道の終点が広場になつており、野宿地に決定。カラマツの林に夕日が射し、心地の良い野宿宴会に突入。参加の皆様、ありがとうございます。

このまま下って上って下ると余地の峠の峠道に入るのだが、野宿地を求めて分岐道に入る。良い感じに四輪の轍は薄く、野宿適地がある可能性は高い。昨今、キャンプブームとかでキャンプ場にテントを張るのがマナーみたいな風潮が高いようだが、野宿者はひたすら他人の目を避け、ひっそりと隠れるように楽しみたいものだ。その道の終点が広場になつており、野宿地に決定。カラマツの林に夕日が射し、心地の良い野宿宴会に突入。参加の皆様、ありがとうございます。

このまま下って上って下ると余地の峠の峠道に入るのだが、野宿地を求めて分岐道に入る。良い感じに四輪の轍は薄く、野宿適地がある可能性は高い。昨今、キャンプブームとかでキャンプ場にテントを張るのがマナーみたいな風潮が高いようだが、野宿者はひたすら他人の目を避け、ひっそりと隠れるように楽しみたいものだ。その道の終点が広場になつており、野宿地に決定。カラマツの林に夕日が射し、心地の良い野宿宴会に突入。参加の皆様、ありがとうございます。

三倉君、今回は欠席させないぞ！のいわき組会報告

198回組会報告

九月十七日（土）晴れ 一日目
十二時過ぎ 福島県いわき市好間町にあるマルト好間店に到着。汗が噴き出る真夏のような陽射しの中、オフ車の集団発見。宮沢さん（BMW）、ゴ三浦さん（XLR80）、半蔵さん（CRF）、三瓶さん（250）達がすでに停まっていた。宮沢さんは事故に遭ってバイクは直ったが、手首骨折が完治してない為、今回は見送りに来てくれた。ゴ三浦さん、半蔵さんは昼食中。昨年、白河組会不参加の件で弄られる。半蔵さんは今回仕事の都合上、一泊のみと言う。自分でシフトを作っている

このまま下って上って下ると余地の峠の峠道に入るのだが、野宿地を求めて分岐道に入る。良い感じに四輪の轍は薄く、野宿適地がある可能性は高い。昨今、キャンプブームとかでキャンプ場にテントを張るのがマナーみたいな風潮が高いようだが、野宿者はひたすら他人の目を避け、ひっそりと隠れるように楽しみたいものだ。その道の終点が広場になつており、野宿地に決定。カラマツの林に夕日が射し、心地の良い野宿宴会に突入。参加の皆様、ありがとうございます。

このまま下って上って下ると余地の峠の峠道に入るのだが、野宿地を求めて分岐道に入る。良い感じに四輪の轍は薄く、野宿適地がある可能性は高い。昨今、キャンプブームとかでキャンプ場にテントを張るのがマナーみたいな風潮が高いようだが、野宿者はひたすら他人の目を避け、ひっそりと隠れるように楽しみたいものだ。その道の終点が広場になつており、野宿地に決定。カラマツの林に夕日が射し、心地の良い野宿宴会に突入。参加の皆様、ありがとうございます。

このまま下って上って下ると余地の峠の峠道に入るのだが、野宿地を求めて分岐道に入る。良い感じに四輪の轍は薄く、野宿適地がある可能性は高い。昨今、キャンプブームとかでキャンプ場にテントを張るのがマナーみたいな風潮が高いようだが、野宿者はひたすら他人の目を避け、ひっそりと隠れるように楽しみたいものだ。その道の終点が広場になつており、野宿地に決定。カラマツの林に夕日が射し、心地の良い野宿宴会に突入。参加の皆様、ありがとうございます。

このまま下って上って下ると余地の峠の峠道に入るのだが、野宿地を求めて分岐道に入る。良い感じに四輪の轍は薄く、野宿適地がある可能性は高い。昨今、キャンプブームとかでキャンプ場にテントを張るのがマナーみたいな風潮が高いようだが、野宿者はひたすら他人の目を避け、ひっそりと隠れるように楽しみたいものだ。その道の終点が広場になつており、野宿地に決定。カラマツの林に夕日が射し、心地の良い野宿宴会に突入。参加の皆様、ありがとうございます。

十九号線）を西進し、0.8km進み田交差点を右折し国道四十九号線を西進する。1.1km進み左折し、林道高野線に入る。林道と言っても路面は舗装の生活道路。1.8km走り丁字路を左折し、0.1km走り左折し農道へ、0.3km直進し右折、高野林道へ、0.1km直進し右折、あるダートを2.8km進み丁字路を左折し本線を進む。大型車両に踏まれて固まった土の路面を0.6km進み丁字路を直進。フラットダートで走りやすいが所々に雨水で出来た沼地がある。4.4km走り左折し「林道高野大沢線」へ入る。始めの登りはコンクリート路面だが途中から深い砂利で時折雨水で掘れた深い溝が出現する林道。2.8km走り左折し南進。アスファルト舗装に流出した土砂が堆積していたり、苔が生えていたり注意が必要な道を1.6km進み左折すると「官沢林道」に入る。以前は荒れていた林道だったが、林業作業の為なのか路面が固められていて両脇から張り出して草もなくなつており整備されて走りやすい林道に変わっていたが、後半の下りに入ると、頻りに水切りの為の溝が現れ、走りづらくなる。十四時四十分、5.3km走り、三叉路で休憩。橋上からみんなで山女魚の観察をしたり「官沢？宮沢？」と微妙な漢字の看板を見てツッコんだりして時間調整の為、休憩をする。組長は集合前に付近を試走して野宿地の選定をしていたらしい。十五時十分分左折し、「硯石林道」に入る。深い砂利と深い水切りの溝で走りづら。1.5km走った分岐の所で停車し後続を待つが来ない。三分経つても来ないので様子を見に引き返す。0.3km戻るとオガタさんとゴ三浦さんが停まっていた。どうやらオガタさんが荷崩れを起こしたらしい。水切り溝を乗り越える衝撃と伸びたストレッチャコードが原因らしい。積み直して集団に戻り再出発。深い砂利を1.0km走り丁字路へ。右折し、雨水の溝が深いちよいと荒れ林道を下る。1.7km走り左折し、「折松林道」へ入る。始めは砂利が深い路面で走りづら。林の中になると、泥濘路面が所々出てくるフラットダート。3.1km地点の支線を右折。舗装、ダートを繰り返して最後は藪漕ぎして0.8km地点の草の生い茂る広場に十五時四十分前に到着。本日走行距離41.9km。数年前の組会で一度昼休憩をした

このまま下って上って下ると余地の峠の峠道に入るのだが、野宿地を求めて分岐道に入る。良い感じに四輪の轍は薄く、野宿適地がある可能性は高い。昨今、キャンプブームとかでキャンプ場にテントを張るのがマナーみたいな風潮が高いようだが、野宿者はひたすら他人の目を避け、ひっそりと隠れるように楽しみたいものだ。その道の終点が広場になつており、野宿地に決定。カラマツの林に夕日が射し、心地の良い野宿宴会に突入。参加の皆様、ありがとうございます。

このまま下って上って下ると余地の峠の峠道に入るのだが、野宿地を求めて分岐道に入る。良い感じに四輪の轍は薄く、野宿適地がある可能性は高い。昨今、キャンプブームとかでキャンプ場にテントを張るのがマナーみたいな風潮が高いようだが、野宿者はひたすら他人の目を避け、ひっそりと隠れるように楽しみたいものだ。その道の終点が広場になつており、野宿地に決定。カラマツの林に夕日が射し、心地の良い野宿宴会に突入。参加の皆様、ありがとうございます。

このまま下って上って下ると余地の峠の峠道に入るのだが、野宿地を求めて分岐道に入る。良い感じに四輪の轍は薄く、野宿適地がある可能性は高い。昨今、キャンプブームとかでキャンプ場にテントを張るのがマナーみたいな風潮が高いようだが、野宿者はひたすら他人の目を避け、ひっそりと隠れるように楽しみたいものだ。その道の終点が広場になつており、野宿地に決定。カラマツの林に夕日が射し、心地の良い野宿宴会に突入。参加の皆様、ありがとうございます。

このまま下って上って下ると余地の峠の峠道に入るのだが、野宿地を求めて分岐道に入る。良い感じに四輪の轍は薄く、野宿適地がある可能性は高い。昨今、キャンプブームとかでキャンプ場にテントを張るのがマナーみたいな風潮が高いようだが、野宿者はひたすら他人の目を避け、ひっそりと隠れるように楽しみたいものだ。その道の終点が広場になつており、野宿地に決定。カラマツの林に夕日が射し、心地の良い野宿宴会に突入。参加の皆様、ありがとうございます。

このまま下って上って下ると余地の峠の峠道に入るのだが、野宿地を求めて分岐道に入る。良い感じに四輪の轍は薄く、野宿適地がある可能性は高い。昨今、キャンプブームとかでキャンプ場にテントを張るのがマナーみたいな風潮が高いようだが、野宿者はひたすら他人の目を避け、ひっそりと隠れるように楽しみたいものだ。その道の終点が広場になつており、野宿地に決定。カラマツの林に夕日が射し、心地の良い野宿宴会に突入。参加の皆様、ありがとうございます。



